

JENESYS^{2.0}

J E N E S Y S 2 . 0 在韓公館選抜事業 韓国青年訪日団による外務省訪問

平成26年3月

J E N E S Y S 2 . 0の一環として、2月18日から2月27日まで訪日した在韓公館選抜事業 韓国青年訪日団約90名が、2月21日午後、外務省の森本日韓交流室長を訪問しました。

冒頭、森本室長から歓迎の言葉を述べ、今回の訪日を契機に日本について更に関心を持ち、日韓関係の架け橋になることを期待する旨、挨拶しました。

続いて、訪日団を代表して梨花女子大学付属高等学校2年生の安玗知(アン・ヒョンジ)さんが研修の抱負を述べました。安さんは、隣国の日本が、実際は非常に美しい国であり、日本人の温かみを感じることができた、これから経験するホームステイは非常に貴重な経験であり、より多くのことを見て学ぶことができるように、最善を尽くしたい旨、述べました。続いて江原外国語高等学校2年生の咸炫周(ハム・ヒョンジュ)さんと宇信高等学校2年生の諸葛恩栄(チェル・ウンヨン)さんからも挨拶がありました。咸さんは、今回の事業を通じて非常に貴重な経験ができたこと、特に学生交流では、日本の学生と知り合う機会となり有意義であった、ホームステイにも期待している旨、述べました。諸葛さんは、日本人の他人を配慮するおもてなしを感じた、今回の事業を通じて日本の様々な面を見て学び成長したい旨、述べました。

その後、質疑応答の時間には、訪日学生達から、外務省について、理想の日韓関係像、外務省が実施している青少年交流事業、日韓関係の改善策等について質問があり、森本室長から回答しました。

(質疑応答)



(集合写真)

